

ドブネズミ

Rattus norvegicus

ネズミ科

クマネズミ

Rattus rattus

ネズミ科

名前の由来

ドブは溝や水路などに棲むことから。クマは大きいネズミであるから、または体色からか？ネズミは暗い所に居るので「根棲み」、あるいは「穴棲み」から、「寝盗」からなどの説がある。漢字名：溝鼠、熊鼠



ドブネズミ。円内は夜間、水路脇を駆け抜けるドブネズミ

形態的特徴

ドブネズミ：頭胴長（鼻先から尻尾の付け根まで）186～260mm、尾長149～220mm、後足長（後足の指先から踵まで）34～46mm。毛色は褐色がかった灰色。腹は灰白色。耳は小さく、前に倒しても目が隠れない。

クマネズミ：頭胴長（鼻先から尻尾の付け根まで）150～240mm、尾長150～260mm、後足長（後足の指先から踵まで）22～35mm。背面は褐色で、腹面は淡黄褐色か黄色みがある。クマネズミは耳を前に倒すと目が隠れる。

生息環境・分布

ドブネズミ：主に水辺、海岸、湿地など。下水などにも生息。都市部や都市周辺、海岸部に多いが、河川沿いにも分布している。人家のある所は生息環境となりうる。いわゆる家ネズミの一つ。外来種。

分布(どちらも)：国外では、汎世界的に分布。国内で、全国に分布。北海道内では、全域に分布。

クマネズミ：ビルや天井裏などの比較的乾燥した高い所に棲む。いわゆる家ネズミの一つ。外来種。

十勝地方では、全域に見られる。ドブネズミは市街地や水路沿いなどに生息する。クマネズミは主に都市部や都市周辺に多く、建物の天井裏やビルなどに生息する。

食性・他生物との関わり

ドブネズミ：雑食性。人家近くでは魚介類や肉などが多い。
クマネズミ：雑食性。種子や穀類、果実などを好むが、昆虫なども食べる。

どちらも：ネコ、イタチ類、タカ・フクロウ類、ヘビ類などが天敵となると思われる。

繁殖生態・寿命

ドブネズミ：年中繁殖するが、春と秋がピーク。8～9子産む。8～12週で週で性成熟。寿命は野外で1～2年。

クマネズミ：年中繁殖するが、春と秋がピークで、一度に5～7子を産む。12～16週で性成熟。野外寿命は1～2年。

興味深い話

- ドブネズミは高い所に登ったりするのはあまり上手くなく、主に地表や建物では下層に生息する。クマネズミは木登りなどが非常に上手で、建物では高層にも生活し、電線を渡って移動する事もあるようだ。
- 実験などに用いるラットはドブネズミを品種改良したものの。

- 天井裏で「運動会」をするのはたいていクマネズミ。
- ドブネズミは闘争時や乳を求める時に超音波を発する。
- クマネズミは警戒心が強い上、殺鼠剤に抵抗性を持つものも現れ、駆除が難しいという。しかし札幌では1980年代にほとんど駆除に成功した。広い道路が交流を妨げたためかと推測されている。

生活サイクル（ドブネズミ・クマネズミとも）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
出現期	■											
繁殖期	■											

参考文献

「日本の哺乳類」阿部永・石井信夫・金子之史・前田喜四雄・三浦慎悟・米田政明 東海大学出版会 1994
「日本動物大百科1 哺乳類I」日高敏隆 監修 平凡社 1996

「北海道 森と海の動物たち」エコ・ネットワーク編 北海道新聞社 1997

魚類

底生動物

爬虫類
両生類

トンボ

チョウ

樹木

(在来種) 草花

(外来種) 草花

哺乳類

(水辺) 鳥類

(草原・樹林) 鳥類